

# 【第2次札幌新まちづくり計画 平成21年度進行管理評価結果】

## 『政策目標2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街』

### 重点課題3 札幌らしい新産業の育成と企業の誘致

#### < 施策の基本方針 >

さっぽろのブランド力をさらに向上させるため、札幌市立大学をはじめとした研究機関が持つ知の資産と産業を結び、デザインやバイオの分野などで札幌らしい特色ある新産業を育成し、スイーツなどの食品関連産業とともに国内外に発信します。また、平成27年までにIT・コンテンツ産業売上高1兆円を目指し、人材・企業を育成し、映像を中心としたコンテンツ分野の取引の拡大を図るとともに、IT関連企業などを積極的に誘致します。

#### 事業費の進捗率

62.0% 算出式：(H19決算額 + H20決算見込額 + H21予算額) 1,268,827千円 / (計画事業費) 2,047,500千円

#### 施策別の主な取組内容

##### 19～20年度(実績)

【施策1】札幌の都市イメージを活用した産業の振興  
 ・狸小路商店街の空き店舗を活用し、平成20年12月に、民間事業者の運営による「道産食彩HUG(ハグ)」を開設した。  
 ・スイーツコンペティションやスタンプラリーの実施に加え、「さっぽろオータムフェスト2008」の開催に合わせて「さっぽろオータムスイーツファンタジー」を実施するなど、幅広くさっぽろスイーツの周知を行った。  
 【施策2】IT・コンテンツ・バイオなどの新産業の育成・拡大  
 ・ショートフィルム等のコンテンツの取引が行える「さっぽろコンテンツマーケット」が構築され、稼働した。  
 ・機能性食品・化粧品分野に特化した全国規模のビジネスマッチングを札幌市で初めて開催したほか、神戸・大阪においてバイオ産業のビジネスマッチングを開催した。  
 【施策3】札幌の優位性を活かした企業の誘致  
 ・企業訪問や首都圏での展示会への出展等、誘致事業を実施し、IT・コンテンツ・バイオ企業11社、コールセンター6社を新たに誘致した。

##### 21年度(予定)

【施策1】札幌の都市イメージを活用した産業の振興  
 ・引き続き「さっぽろスイーツ」の周知に努めるとともに、道産食品の普及啓発を行う団体が都心においてPR・販売する際の家賃を補助する「北海道の食を愛するまち」情報発信拠点支援事業を行う。  
 ・「札幌スタイル」の周知や認証製品の販路拡大に向けた取組を行い、札幌発のブランドを創出する。  
 【施策2】IT・コンテンツ・バイオなどの新産業の育成・拡大  
 ・引き続き機能性食品・化粧品分野に特化したビジネスマッチングを札幌市で開催する。  
 ・ロケ支援業務の体制強化やさっぽろコンテンツマーケットの運用により、映像産業の振興を図る。  
 【施策3】札幌の優位性を活かした企業の誘致  
 ・引き続き積極的な誘致事業・人材育成事業を実施し、札幌の特性を活かした誘致・振興を図る。

#### 市民・企業等との協働の状況

市民との連携、市民参加  
 ・「食のまち」札幌の推進：「スイーツ王国さっぽろ推進協議会」を中心にスタンプラリーなどの市民参加型事業を展開した。また、「さっぽろオータムスイーツファンタジー」では3日間で45,900人の来場者があり、食ブランドの推進を市民参加により実現している。  
 企業等との連携、協働  
 ・北海道大学連携型起業家施設運営事業：バイオ等の先端産業の立上げを支援するために設置した北大BI(ビジネス・スプリング)について、北海道などの関係機関と連携してIM(インキュベーション・マネージャー)の派遣を行うなど、情報交換をしながら事業を実施している。  
 市民・企業等が参加しやすい環境づくり  
 ・札幌スタイル推進事業：札幌スタイルにかかわる企業関係者、市民、NPO等で構成する「札幌スタイルホームページ委員会」によって、当事者目線を組み込んだ情報発信に努め、市民、企業の事業参加を促している。

#### 評価(成果)と課題

【施策1】札幌の都市イメージを活用した産業の振興  
 ・「食のまち札幌」の推進としては、市民参加型のコンペティションの実施やスタンプラリーの開催のほか、「さっぽろオータムフェスト」における出店などを通して、「スイーツの街さっぽろ」の実現、さらには食関連産業の活性化に貢献している。  
 北海道の食資源を活用した「札幌の食」等を都市ブランドとして確立するとともに、北海道産の素材をより活用することで、道内経済循環の拡大を図り、北海道経済を牽引していく必要がある。  
 【施策2】IT・コンテンツ・バイオなどの新産業の育成・拡大  
 ・3年間で800名を超えるIT技術者に対して研修を実施しており、高度なスキルを有した人材や即戦力エンジニアの育成につながっている。  
 ・関西での商談会に加え、初めて札幌で全国規模のバイオビジネスマッチングが開催され、精度の高い商談の場を設定することができた。  
 IT産業では、中長期的に堅調な成長が望める体制構築に向けた支援を検討する必要がある。また、本市バイオ産業では大半の企業が資金、人材及び販路等で課題を抱えており、有望な技術・素材を活かすため、販路拡大や企業連携の支援を強化していく必要がある。  
 【施策3】札幌の優位性を活かした企業の誘致  
 ・平成20年度はIT・コンテンツ・バイオ企業9社、コールセンター6社が新たに札幌に立地した。これに伴い、雇用の改善や市税収入の増加等、地域経済の活性化が図られた。  
 多くの自治体が地域特性を活かした企業誘致を進めており、地域間の競争は激化しつつあることから、本市単独ではなく、北海道の制度の活用や石狩市など周辺市町村との連携により誘致活動を強化していく必要がある。

#### 今後の重点取組

札幌の強みである食関連産業の競争力を高めるため、これまで培ってきた企業・関係団体のネットワークや情報等を十分活用し、生産から加工、販路拡大までの総合的な支援を展開する。また、道産の食の消費促進を啓発し、道内、さらには本市経済の活性化を図っていく。  
 IT関連産業は、高度な技術を有した人材の育成支援のほか、新しいビジネスモデルの創出や、大型案件の受注拡大に資する協業化のための支援を進める。また、バイオ産業は、販路拡大・企業連携を支援するため、国内外の地域・企業との連携をさらに促進していく。  
 石狩市を始めとした札幌広域圏と連携した企業誘致施策を展開し、札幌経済圏として企業立地の優位性を対外的にPRしていく。また、北海道の立地支援制度と連携した新たな立地支援制度の検討を進めており、札幌の地域特性を活かした企業誘致を今後、さらに促進していく。

#### 主な達成目標の状況

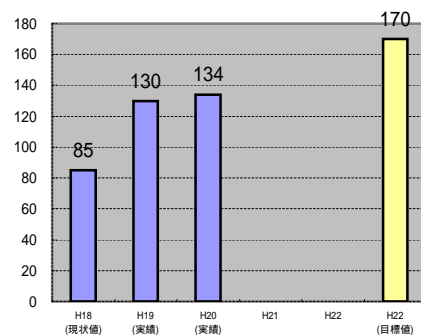
達成目標名	目標値(目標年度)	H18(現状)	H20(実績)
スイーツ王国さっぽろ推進協議会への参画会員数	170社(H22)	85社	134社
スイーツマルシェ出展数	25店(H22)	20店	22店
スイーツマルシェ集客数	500人(H22)	350人	390人
〔札幌スタイル〕認証製品数(累計)	100件(H22)	56件	95件
販路拡大支援事業への首都圏参加企業数	200社(H22)	94社	190社
ビジネスマッチングの来場者数	800人(H22)	427人	699人
IPビジネス研究会への参加企業数	50社(H22)	-	-
取引可能な映像作品等の集積本数(累計)	10,000本(H22)	1,500本	6,666本
ロケーション(延べ)撮影日数	500日(H22)	236日	1,385日
〔高度情報通信人材育成・活用事業による〕市内IT企業への就業者数	100人(H22)	72人	27人
〔新産業育成推進事業〕補助金交付件数(累計)	10件(H22)	2件	7件
北海道大学特許出願数	400件(H22)	271件	251件
〔さっぽろバイオクラスター構想推進事業による〕クラスター形成数	50社(H22)	-	50社
〔企業誘致促進事業による〕誘致企業数(累計)	15社(H22)	-	11社
〔雇用創出型ニュービジネス立地促進事業による〕事業所開設数(累計)	60社(H22)	39社	49社

#### 主な施設・サービスの整備水準

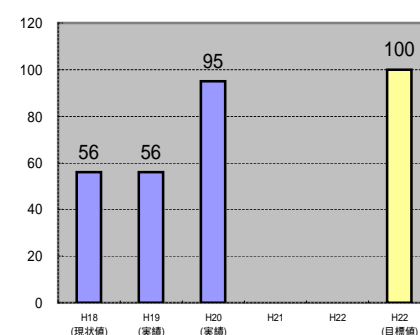
該当なし

#### 成果指標等の動向

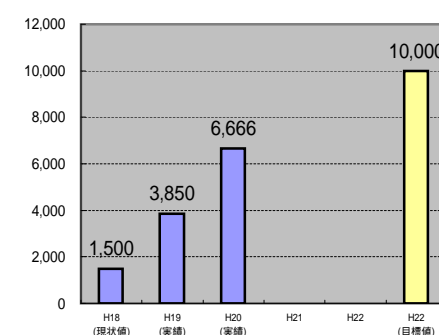
スイーツ王国さっぽろ推進協議会への参画会員数(単位:社)



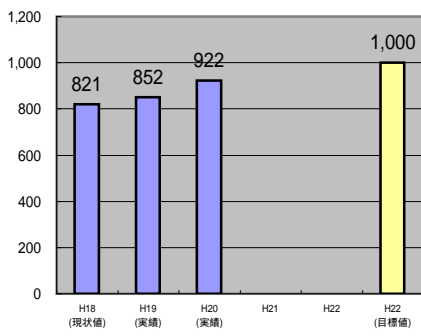
札幌スタイル認証製品数(単位:件)



取引可能な映像作品等の集積本数(累計)(単位:本)



大学の共同研究・受託研究実績(単位:件)



IT・コンテンツ・バイオ企業及びコールセンター・ニュービジネスの誘致数(単位:社)

